

# エンジンブレーキについて



**神戸ドライバーズサポート**

神戸・芦屋・西宮 ベーバードライバー出張教習 企業向け研修・講習

# エンジンブレーキとは

車を走行させるためにはギアチェンジが必要で、発進させるには力が必要です。よって力が強いローギアで発進し、速くなるにつれてセカンドギア、サードギアとギアを上げていきます。

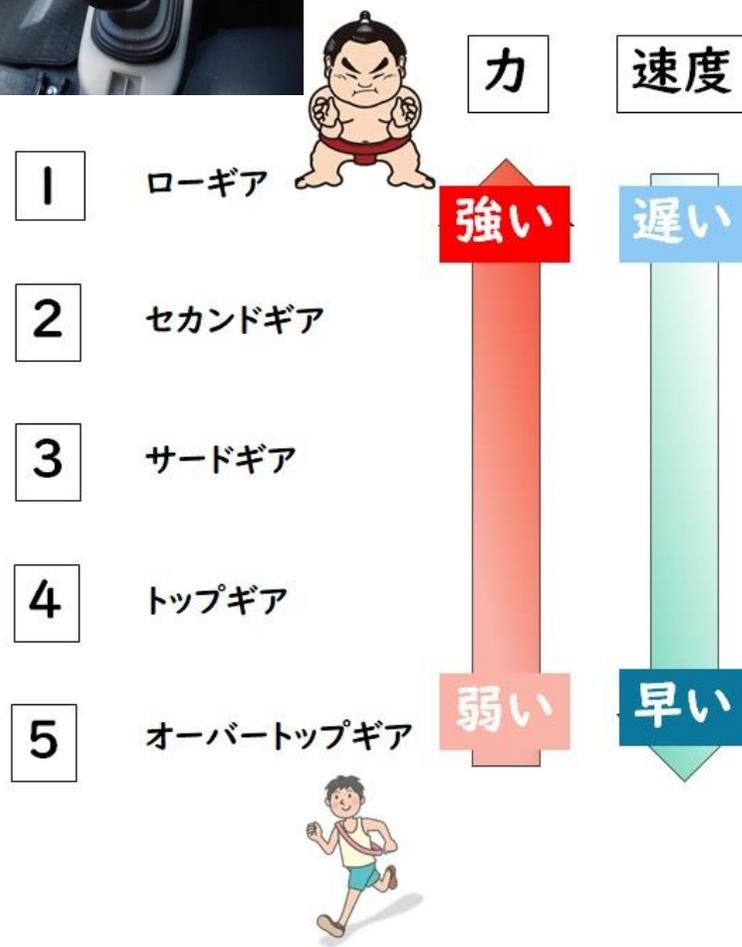
ローギアは、がっちり体型で力持ちですが、走るのが苦手な「お相撲さん」、オーバートップギアは、走るのが得意ですが、スマートな「ランナー」といったイメージです。

車は、アクセルを踏むと加速し、アクセルを離すと失速します。

このアクセルを離れたときのエンジンの回転抵抗を利用した減速を『エンジンブレーキ』といいます。

強くエンジンブレーキを使うには、ギアチェンジします。ギアが低いほど、エンジンブレーキは強く（速度が遅く）なり、ランナーからお相撲さんにバトンをつなぐようなもの。

**速度が速くならないギアに変速する**と考えてください。



# チェンジレバーの紹介



オーバードライブスイッチをOFFにすると、メーターに表示灯が点灯します。

OFFにすると、1番高いギアに変速されません。例えば5速のAT車であれば、1～4のギアで走行することになり、高速走行時にOFFにすると、弱いエンジンブレーキがかかります。

もっとエンジンブレーキを効かせたいなら、セカンドギアやローギアに変速します。





スポーツモード: 弱いエンジンブレーキ  
ブレーキモード: 強いエンジンブレーキ

ハイブリッド車は、ブレーキモードのみになります



MT車のごとくギアを変速できる  
マニュアルモードもあります

# なぜエンジンブレーキが必要か

ブレーキの仕組みとして、ディスクブレーキがあります。  
タイヤの内側にディスクがあり、タイヤと一緒に回転しています。

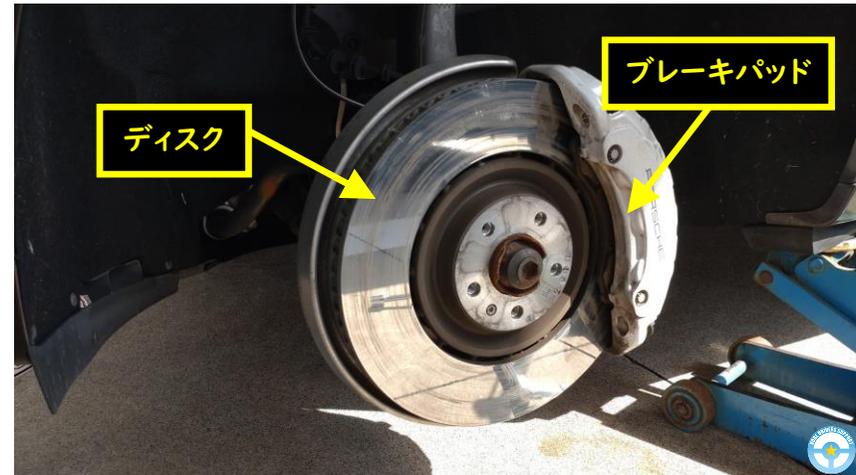
ブレーキペダルを踏むと、ブレーキパッドがディスクを挟み、その摩擦によってタイヤの回転を止める仕組みになっています。

自転車の前輪と同じ仕組みです。

よって、ブレーキを多用するとディスクなどが過熱し、その熱がブレーキ液に伝わって  
ブレーキ液内に気泡が発生し、ブレーキが効かなくなるおそれがあります。

この現象を『ベーパー・ロック現象』といいます。

ディスクブレーキ



長い下り坂ではフットブレーキを多用せず、エンジンブレーキを活用するよう心掛けてください。



# 出張ペーパードライバー講習については

神戸ドライバーズサポート

検索



で、ご確認ください

<https://www.kobe-drivers-support.com/>



**神戸ドライバーズサポート**

神戸・芦屋・西宮 ペーパードライバー出張教習 企業向け研修・講習